

巡回ワゴン実証運行について（報告）

1 周知について

(1) 北斗市広報への記事掲載

- ・ 7月号「持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けて」
- ・ 8月号「持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けて Part 2」（齋藤会長からのメッセージ）
- ・ 9月号 巡回ワゴンの実証運行開始について掲載予定

(2) 町内会への説明

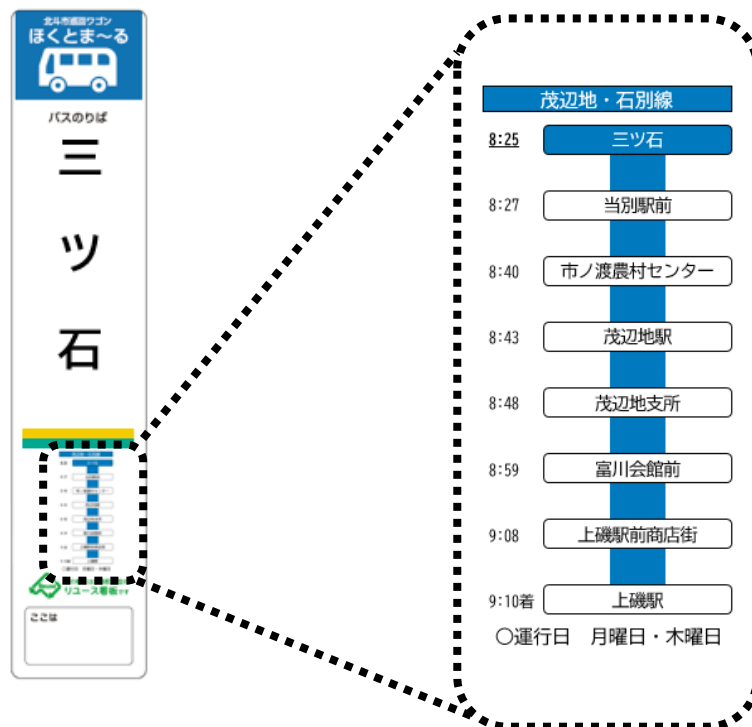
- ・ 6月3日 茂辺地・石別地区町会連絡協議会で説明
- ・ 8月19日 町内会長・自治会長会議で説明（予定）
- ・ 今後、町内会や高齢者大学等で随時説明する予定

2 バス停留所について

運行事業者との協議により、取得費及び積雪や強風への対応等維持管理の観点から、巡回ワゴンのバス停留所として電柱広告を活用する予定です。

※一部、市の街路灯等も活用。

バス停留所のイメージ



3 利用状況の把握について

性別及び乗降地を記録することで、巡回ワゴン利用状況の把握に努めます。

持続可能な

公共交通

ネットワーク

の再構築に向けて



方の買い物や通院に対応することなので、利用者の買い物や通院の時間に合った時間帯に走らせる必要がある。

・買い物や通院の時間について、アンケート結果では、主に午前中、1時間程度の滞在が多くなっている。これを踏まえた運行計画が望ましい。

・既存バス路線との重複についても考慮が必要である。

・運賃については、一律運賃のようにわかりやすいものにすべきである。

要である。

・乗継利用を考慮すれば、運賃は300円が妥当ではないか。

・たくさん利用される方に対する割引回数券が有効ではないか。

巡回ワゴンの
実証運行を開始します

北斗市地域公共交通活性化協議会（会長 齊藤征人 北海道教育大学 函館校准教授）では、今年10月から、市内の交通アクセスに不便な地域を巡回する「巡回ワゴン」の実証運行を開始する予定です。

巡回ワゴンは、令和3年3月に策定された「北斗市地域公共交通計画」に基づくもので、一定程度の市民が生活しているにもかかわらず鉄道やバスを利用しにくい地域について、買い物や通院といった日常生活に必要な移動を確保するために導入するものです。

10月から予定している実証運行は、三ツ石から上磯駅前を往復する「茂辺地・石別地区〜上磯地区」ルート、

三好・水無・桜岱・押上・大工川地区と上磯駅前とを往復する「上磯地区」ルート、稲里・白川・細入から総合分庁舎前を経由し、新函館北斗駅に向かう「大野地区」ルートの3ルートを設定し、各ルート週2回、午前中に運行する計画です。

巡回ワゴンの実証運行については、これまで北斗市地域公共交通活性化協議会に設けられたワーキンググループにおいて、次のような議論・検討を重ねてきました。

■第4回ワーキンググループ

（令和3年3月18日）

新たな交通モードとしての巡回ワゴン運行に関する基本方針について協議し、委員からは次のような意見が出されました。

- ・巡回ワゴン運行の主な目的は、既存バス路線から離れている地域の

■第5回ワーキンググループ

（令和3年4月23日）

基本方針を踏まえて作成した巡回ワゴン運行計画（案）について協議し、委員からは次のような意見が出されました。

- ・巡回ワゴン運行の目的は、市街地から離れた交通不便地の住民の買い物・病院への通院といった生活の足を確保するため、上磯駅前や総合分庁舎前に連れてくること。
- ・すべての要望を巡回ワゴンだけで満たすことは不可能なので、運行の目的に沿った実証運行としなければならぬ。
- ・各ルートは連続したものではなく、それぞれ独立したものとして運行すべきである。
- ・国道で地域幹線である函館バスに乗り継げるようなルート設定が必要

■第6回ワーキンググループ

（令和3年5月18日）

これまでのワーキンググループでの協議結果に基づく巡回ワゴン運行計画（案）について決定したほか、巡回ワゴンの利用促進に関する上磯駅前商店会が計画している取組について情報共有しました。

■第8回北斗市地域公共交通活性化協議会 書面開催

（令和3年5月27日）

ワーキンググループで作成された巡回ワゴン運行計画（案）について承認を得ました。

なお、運行計画の詳細については、広報ほくと9月号でお知らせします。

問 市役所企画課企画係

「内線235」



持続可能な

公共交通ネットワーク

の再構築に向けて

Part2

本年3月に策定した「北斗市地域公共交通計画」は、まちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築を目的として、北斗市地域公共交通活性化協議会での議論を経て策定したものです。

今月号では、協議会の会長である齋藤征人氏（北海道教育大学函館校准教授）からいただいた北斗市の公共交通に関する市民のみなさまへのメッセージを紹介します。



▲北海道枝幸町生まれ。6歳から旧上磯町で育つ。障がい者支援施設の支援員などを経て2014年から現職。専門は社会福祉。46歳。

■北斗市への思い

北斗市は函館市に隣接するため、よく「函館のベッドタウン」と称されますが、上磯にも大野にも、それぞれ固有の歴史とそれに連なる特長があると思います。

上磯で小中学校時代を過ごしましたが、よく家族で自転車に乗って大野川に行き、川遊びをしたり、中学校の吹奏楽部のみなどで八郎沼公園へレクリエーションに行ったりしたことが思い出されます。豊かな自然に囲まれながら暮らしていくには便利なコンパクトシティ。日々にはゆとりが感じられるまちと言えるのではないのでしょうか。

幼少期に自分を育ててくれた二つのまちが、やがて北斗市になり、今は地域公共交通活性化協議会を任されていることに、大変深い縁を感じていますし、今も両親が暮らす北斗市の地域課題は、私にとってまさに「他人事」ではありません。

■公共交通への関わり方

「市民協働のまちづくり」のためには、市民と行政がワンチームになって、我がまちをどうすべきか「作戦会議」をもつような気運の醸成が必要だと感じています。行政が市民に何をしてくれるかだけでなく、このまちのために市民には何ができるかを考え、互いに分かち合うこと。決して無理なくともいい、日々の暮らしや仕事の延長で考えることだと思います。

公共交通を維持していくためには、これまで以上に利用する努力・活用する工夫をみんなで考え、行動しなければいけないと、他自治体の事例からも感じています。

まずは「自分でできることで誰かのためにもなれるまちづくり」から、始めてみてはいかがでしょうか。

例えば、列車やバス、タクシーなどいつもとは違う車窓から見える景色は、ちょっとした旅行気分にもなり、わずかな時間ですが「非日常」のようなものを味わうことができますし、時間に追われる気忙しさから解放される感覚を覚えます。そして、地域の貴重な公共交通の維持にも役に立つ。一石二鳥ですよ。

駅・バス停の清掃や雪かきなどの維持管理は、施設に身近な地域住民の日常生活の中で行われていくことが理想だと思います。バス待合所に捨てられた空き缶を市の職員が回収しているようでは、持続可能な公共交通

通とは言えないでしょう。

自然体であくまで無理せず、楽しみながら地域課題を解決していくことが、取り組みを長続きさせる秘訣なのです。

■公共交通について考える

北斗市には複数の交通モードがあり、他の地域と比べて「恵まれている」と思われがちですが、それを活かし切れていない側面もあるのではないかと思います。そのため、既存の交通モードを使いやすくする「接続」と「縁結び」をテーマに、議論を重ねてきます。

交通の問題は「青天井」です。例えば、バスが走っていない地域を1日1本バスが走るようになると、やがて「1日1本しかない」という声が出るでしょう。1日2本走るようになると、「せめて、午前2本・午後2本」というようになると。やがて「やはり、1時間に1本は…」となり、いずれはそれでも満足できなくなってしまう。限りなく自家用車に近付けたくなってしまうが、公共交通には限界があります。

公共交通を考えることは、私たちの暮らしをもう一度考えてみることもかもしれません。

※広報ほくと9月号では、10月からスタートする巡回ワゴンの運行計画についてお知らせします。

問 市役所企画課企画係

「内線235」

乗降記録簿 (案)

○茂辺地・石別・上磯線 令和 年 月 日 () :

運転手: _____

No.	男女	三ツ石	当別トラピスト入口	当別駅前	中央当別	石別小学校	渡島コロニー入口	灯台入口	4丁目 茂辺地	6丁目 茂辺地	市ノ渡農村センター	7丁目 茂辺地	5丁目 茂辺地	茂辺地駅	茂辺地支所	茂辺地	茂辺地大橋	矢不来	富川	富川会館前	谷川小学校前	谷好3丁目	上谷好	昭和	上磯駅前 商店街	上磯駅前	上磯駅
例	男 (女)								○																●		
1	男・女																										
2	男・女																										
3	男・女																										
4	男・女																										
5	男・女																										
6	男・女																										
7	男・女																										
8	男・女																										
9	男・女																										
10	男・女																										
11	男・女																										
12	男・女																										
13	男・女																										
14	男・女																										
15	男・女																										
16	男・女																										
17	男・女																										
18	男・女																										
19	男・女																										
20	男・女																										

備考